

# 個性で勝負 京の宿続々

運営や設備面で個性を打ち出す宿泊施設が京都市内で次々に登場している。ホテルやゲストハウスが急増する中、宿泊需要を取り込むには客層や施設コンセプトを絞り込む必要があるためだ。23日には女性客や長期滞在者を対象にした施設の内覧会が開かれ、地域文化の発信を掲げる簡易宿所の開設も発表された。独自性を発揮し、激化する競争を乗り切ろうとしている。(柿木拓洋)

## 競争激化で客層絞る



リアルが新築したホテルタイプの宿泊施設。連泊を想定し、キッチンと洗濯機を完備している(京都市東山区・鈴 清水五条)

## 中長期用にキッチン

### ◆連泊仕様

京都市内で簡易宿所の開発や運営を手掛けるリアル(下京区)は、京阪清水五条駅(東山区)の北側に新築したホテルタイプの中長期滞在型施設の完成式典を開いた。連泊する観光客を客層に想定し、全客室にキッチンや洗濯機を導入した。

施設は4階建て全18室で、4月に営業を始める。各部屋に簡易なキッチンと洗濯機、電子レンジを設けた。観光で京都に3日以上滞在する訪日外国人の家族連れを主なターゲットに据える。

同社が市内で運営するホテルタイプの宿泊施設は7棟目で、大半が今回のような連泊仕様になっている。現在は町家の1棟貸し施設も含め、市内で38棟計約140室を運営。2020年に160棟計800室超に増やす計画という。